



海の道むなかた館年報 vol.10

令和 3 年度の報告

～宗像市郷土文化学習交流館年報～



宗像市教育委員会

はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市の博物館として、また、平成29年7月に世界文化遺産に登録された『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイドンス施設としての役割を担っています。平成31年2月には、平成24年4月の開館以来、入館者数が100万人を突破しました。これもひとえに、多くの皆さまのおかげと、感謝申し上げます。宗像市は、海・川・山といった豊かな自然と田畑に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻み、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。当館では、それらの貴重な文化遺産を次世代に守り伝えるべく、基礎的な調査・研究を行い、その成果を展示や講座などを通じて公表することで、市民の皆さまに関心を持っていただき、かつ、楽しんでいただけるように心がけて参りました。そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学んでもらおうと、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験、ものづくりをテーマとしたロボット工作及び工芸体験などを提供して参りました。また、世界文化遺産のガイドンス施設として、沖ノ島の臨場感あふれる映像や奉獻品のレプリカ、解説パネルなど各種展示を提供しています。その他、年間を通じて四季折々の事業を実施し、市内外の皆さまの交流の場としても活用いただいています。

これまでの当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの人々に親しまれ、愛されてきたことを実感しますとともに、当館の展示解説ボランティアであります地域学芸員の皆さまの献身的で精力的な活動に頭が下がる思いです。この場を借りて感謝申し上げます。

最後に、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大によって、当館も来館者の減少等さまざまな影響を受けています。しかしながら、私たち館員一同は、未来を見据え、出来得ることを模索しながら、皆さまに愛される博物館を引き続き目指して取り組んで参ります。また、令和4年度の世界遺産登録5周年記念の年に向けて、より多くの方に宗像の貴重な歴史文化を知っていただくために事業展開を行っていきますので、今後も皆さまのご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年 8月

海の道むなかた館

館長 西谷 正

1 海の道むなかた館の概要

1. 建設から現在に至る経緯

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、玄海文化センター「アクシス玄海」という多目的な文化施設を改修することで生まれ変わった施設である。

アクシス玄海は、平成4年に観光物産館・文化施設として開館。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成10年には、観光物産館を改装し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として集客を誇った。その後、平成20年に道の駅むなかたのオープンによって物産館の機能が移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月までは地元の田島地区コミュニティ運営協議会（当時）が管理運営に携わっていた。

平成22年7月、宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

平成29年7月、ポーランドで開かれた世界遺産委員会において、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録決定した際には、当館でパブリックビューイング（7月9日、インターネットによる実況中継）を実施。約400人が参加し、歓喜に沸いた。

平成31年2月、平成24年4月の開館以来の入館者数が100万人を突破した。

平成31年4月、市の機構改革により館の運営及び事業の推進を担う部署が、それまでの郷土文化課から世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。

令和3年4月、文化財課は世界遺産課に一本化される。

2. 沿革

平成4年（1992）	5月	玄海文化センター「アクシス玄海」開館
平成21年（2009）	9月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
平成22年（2010）	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
平成23年（2011）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了
	6月	第1期地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年（2012）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
	9月	第1期地域学芸員養成講座（中級）の開講

- 平成25年(2013) 5月 海の道むなかた館西館改修外工事の着手
 6月 海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
 7月 海の道むなかた館周辺整備工事の着工
 10月 第2期地域学芸員養成講座(初級)の開講
- 平成26年(2014) 3月 海の道むなかた館周辺整備工事の竣工
 11月 第2期地域学芸員養成講座(中級)の開講
- 平成28年(2016) 9月 国際記念物遺跡会議(イコモス)の視察調査
- 平成29年(2017) 7月 第41回世界遺産委員会のパブリックビューイングを実施
 ※『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録
 決定
- 平成30年(2018) 1月 沖ノ島VR映像(NTTドコモ提供)を導入
 3月 展示室に大型スクリーンを設置
 10月 第3期地域学芸員養成講座の開講
- 平成31年(2019) 2月 来館者数100万人を達成
 景観マッピングビジョン、世界遺産解説コーナーを設置
 4月 市の機構改革により館運営と事業推進を担う部署が世界遺産課及び文化財課の2課体制となる。
- 令和2年(2020) 3月 展示ホール内大型スクリーン映像内容更新
 3月 エントランスホール展示内容変更
 世界遺産年表移設、新原・奴山古墳ジオラマ新設、沖ノ島出国宝レプリカ新設
 (奈良三彩小壺・金銅製龍頭、カットグラス碗・金製指輪・三角縁神獣鏡)
 3月～6月 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館(3月28日から6月1日)
- 令和3年(2021) 1月 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館(1月15日から2月23日)
 4月 文化財課は世界遺産課に一本化され、世界遺産係・文化財係となる
 5月～6月 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館(5月13日から6月22日)
 8月～9月 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館(8月10日から9月30日)

3. 開館時間

● 開館時間

9時～18時

● 休館日 ※臨時で休館又は開館する場合あり

- ・月曜日（月曜日が祝日・振替休日にあたるときは、その翌平日）
- ・12月29日～翌年1月3日まで

● 入館料

無料（特別展示等において有料の場合あり）

4. 館の施設概要

郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）		
施設名	面 積	摘 要
【1階本館】		
風除室	33 m ²	ホールへの外気進入防止のための空間
世界遺産課事務室	70 m ²	総合案内、保存係及び活用係事務室
ホール	397 m ²	ショップ「宗像蒼の社」、世界遺産ガイダンス展示
ロッカー室	10 m ²	来館者用ロッカー
常設展示室	386 m ²	宗像の歴史展示、世界遺産関係展示等に使用
重要文化財展示室	53 m ²	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財の展示や企画展に使用
荷解室	25 m ²	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きに使用
前室	14 m ²	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らすために使用
重要文化財収蔵庫	25 m ²	重要文化財等の収蔵に使用
3Dシアター	33 m ²	沖ノ島紹介3D映像の上映及びVR利用に使用
ボンベ室	8 m ²	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244 m ²	宗像地域の自然、歴史、文化に関する体験学習等の実施に使用
土器復元室	42 m ²	埋蔵文化財復元作業等に使用
倉庫	25 m ²	体験学習に用いる道具・材料等の収納に使用
トイレ	77 m ²	男女トイレ、多目的トイレ
【1階西館】		
宗像市民図書館深田分館	423 m ²	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を中心とした市民図書館
第2展示室	110 m ²	各種展示等に使用
講義室	134 m ²	各種講座等の開催に使用
館長室	33 m ²	館長室
新修宗像市史編さん事務局事務室	50 m ²	新修宗像市史編さん事務局事務室
清掃員控室	15 m ²	清掃員の控室及び休憩室
埋蔵文化財整理室	100 m ²	文化財整理作業に使用
文化財課事務室	59 m ²	文化財係事務室
授乳室	3 m ²	授乳室
トイレ	40 m ²	男女トイレ
【2階】		
図書整理室	96 m ²	図書整理室
図書準備室	69 m ²	図書準備室
ボランティア控室	28 m ²	地域学芸員の会及び宗像歴史観光ボランティアの会事務局の活動に使用
埋蔵文化財関係書庫	69 m ²	酒井文庫、文化財報告書等を収蔵
郷土資料関係書庫	31 m ²	市史編さん関係資料等を収蔵

【地階】		
収蔵庫	367 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
収蔵庫	41 m ²	文化財調査出土品等を収蔵
機械室	25 m ²	ホール用空調設備機器を設置
倉庫	10 m ²	文化財関係書類等の保管に使用
収蔵庫	17 m ²	文化財調査出土品等を収蔵

5. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田 5 8 8 番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上 3 階 地下 1 階
敷地面積	11,082.02 m ²
用途地域	準都市計画区域内（平成 24 年 4 月 1 日現在）
既存建物床面積	3,973.26 m ²
既存建物建築面積	2,934.38 m ²
既存建物竣工	平成 4 年 3 月 31 日
現建物床面積	3,901.42 m ²
現建築面積	2,978.85 m ²

2 管理運営体制

1. 組織

(1) 令和3年度 館の機構

館長 西谷 正
 教育子ども部 世界遺産課 世界遺産係（保存班）
 （活用班）
 文化財係
 市史編さん室

(2) 地域学芸員

海の道むなかた館では、平成23年～平成30年度に実施した第1期、第2期及び第3期地域学芸員養成講座の修了者が市民ボランティア「地域学芸員」として、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担っている。

93人の地域学芸員が活動。市では、地域学芸員の館内での1回の活動に対して1,000円の特別旅費を支払っている。

また、さらなる活動の充実を図るため、令和2年11月に全地域学芸員で構成する「海の道むなかた館地域学芸員の会」を組織化し、運営委員会を中心に研修等の企画立案、新たな体験学習の実施、世界遺産学習動画の作成等を行った。

○令和3年度活動状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	251	72	67	233	50	—	230	196	206	244	173	247	1,969

○令和3年度地域学芸員研修実施状況

日時	内容	参加者数
4月15日(木)	来館者に対する接客研修	32
6月24日(木)	学校対応世界遺産学習研修	29
11月18日(木)	新原・奴山古墳群研修	37
12月8日(水)	大島交流館研修	28
3月15日(火)	館長講話	39

2. 郷土文化学習交流館協議会

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識経験者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し審議する機関である。

(1) 委員

任期：令和4年3月17日～令和6年3月16日

	区分	氏名	役職等
1	学校教育及び社会教育の 関係者	高橋 茂	自由ヶ丘小学校教頭
2		井上 伸和	玄海中学校教頭
3	家庭教育の向上に資する 活動を行う者	升谷 智子	海の道むなかた館地域学芸員
4	学識経験者	松久 公嗣	福岡教育大学教育学部教授
5		竹本 英代	福岡教育大学教育学部教授
6		長友 貞治	宗像大社権禰宜
7	市民代表	田島 信之	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
8		坂梨 千尋	宗像歴史観光ボランティアの会

(2) 会議

日程：令和4年3月17日（木）

会場：海の道むなかた館 講義室

議題：

- 1 あいさつ
- 2 委嘱状の交付
- 3 報告事項
 - (1) 来館者等について
 - (2) 講座・イベントについて
 - (3) 地域学芸員について
 - (4) 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について
 - (5) 令和3年度文化財保護事業の概要について

3. 令和3年度決算

(単位：円)

海の道むなかた館予算	展示活用事業費	管理運営費
報酬	1,945,800	7,883,350
職員手当等	413,482	—
共済費	378,767	24,200
賃金	—	—
報償費	140,600	—
旅費	2,086,620	208,230
需用費	631,147	9,990,796
役務費	59,339	588,635
委託料	1,590,600	13,690,296
使用料及び賃借料	—	566,155
工事請負費	—	—
備品購入費	—	784,196
負担金・補助及び交付金	10,000	—
公課費	—	13,200
決算額	7,256,355	33,749,058

3. 展示

1. 常設展示室

「海の道」をテーマに宗像地域からの出土品や資料を展示、紹介している。特に、世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設として、沖ノ島の祭祀遺跡や構成資産を紹介する7×18mの大型スクリーンに映し出される映像は大迫力で充実している。



○展示物

【ヒトの来た道】

時代：旧石器時代～縄文時代

展示品：旧石器時代 石器の材料（各地の黒曜石、サヌカイト）
ナイフ形石器（池浦トボシ遺跡）台形石器（平等寺長浦遺跡）
細石核（平等寺原遺跡）
縄文時代 曾畑式土器（さつき松原遺跡）石斧、すり石、
鐘崎式土器（鐘崎「上八」貝塚）、浅鉢（富地原深田遺跡）等



【稲作が渡った道】

時代：弥生時代

展示品：弥生土器（甕：大井三倉遺跡）（壺：久原遺跡）石包丁、
ドングリ類（光岡長尾遺跡）、炭化米（須恵クヒノ浦遺跡）
銅剣・銅矛（久原遺跡）、紡錘車等



【最先端技術が渡った道】

時代：古墳時代

展示品：土師器（甕、手づくね土器、台付鉢等：富地原川原田遺跡）
移動式竈（大島大岸遺跡）、須恵器（甕、高杯等：大井三倉遺跡）



【半島・大陸との交流の道】

時代：古墳時代

展示品：鉄鉗（朝町山ノ口遺跡）、鉄滓（野坂一町間遺跡）、
埴輪（人物、円筒：久原澤田古墳群Ⅱ区3号墳）、
コップ形土器（久原瀧ヶ下遺跡）勾玉・管玉（東郷高塚古墳）
金銅製飾履（牟田尻中浦古墳群レプリカ）等



【拡大する海外交流の道】

時代：奈良時代～室町時代

展示品：鬼瓦（武丸大上げ遺跡）陶磁器（久原遺跡出土）等



【街道と海女の道】

時代：安土・桃山時代～現代

展示品：陶磁器（屋号銘入り徳利、染付碗：唐津街道赤間宿跡）等
海女の道具一式（福岡県指定有形民俗文化財）等



2. 特別展示室

国宝・重要文化財を含め、各地域の貴重な文化財を鑑賞することができる展示室で、年に数回さまざまなテーマによる特別展示を開催する。

【沖ノ島祭祀前夜】

時代：弥生時代

弥生土器、磨製石剣、磨製石鏃（田久松ヶ浦遺跡）
土笛（光岡長尾遺跡）等



3. 特別展

【特別展示室】

「海人王国宗像-古墳時代の交流と繁栄-」

会期：令和4年1月8日（土）～2月27日（日）

入館料：無料

主催：宗像市教育委員会

共催：宗像市

協力：飯塚市教育委員会 宮内庁正倉院事務所 桂川町教育委員会 福岡教育大学 福岡市教育委員会

概要：令和4年に登録5周年をむかえる世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群のブレイベントとして、かつて宗像地域に存在した古墳時代の宗像海人族に焦点を当てた展示を行い、期間中 15,334 人の入館者数を記録した。

○記念イベント 記念講演 古墳時代宗像地域の首長と渡来人
令和4年1月22日（土）
講師/重藤輝行（佐賀大学教授）



4. 企画展

(1) 出光佐三特別展

内容：出光佐三の生涯と宗像での功績に関するパネルを展示

会期：令和3年3月23日（火）～3年4月23日（金）

(2) TDM・TDA（ツール・ド・ムナカタ・ツール・ド・アリタ）写真展

内容：ツール・ド・ムナカタ及びツール・ド・アリタに過去参加した車両の写真展示

会期：令和3年7月1日（木）～3年7月31日（土）

(3) 一特別公開―鎮国寺所蔵品展

内容：鎮国寺所蔵の掛軸等、普段見られない品々を特別展示

会期：令和3年10月19日（火）～3年12月19日（日）

(4) 沖ノ島視認調査写真展

内容：沖ノ島の視認調査について1年間を通じた状況を写真で展示

会期：令和3年11月3日（水）～3年12月19日（日）

(5) むなかた歳時記 3月 涅槃会

内容：鎮国寺所蔵の涅槃図を中心に涅槃会について掛軸・パネルを展示

会期：令和4年3月11日（金）～4年3月31日（木）

5. 第2展示室

(1) 戦争と平和展

内容：第2次世界大戦中の宗像地域に関する写真や軍服・防空頭巾などの資料を展示

会期：令和3年10月1日（金）～10月30日（土）



6. 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。その他に、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

(1) 3D映像

① 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群（上映時間：11分）

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値をわかりやすく解説する。



②「宗像大社の神事―人々の信仰と祈り―」（上映時間：13分）

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り上げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



③「沖ノ島の自然―太古の姿をそのままに―」（上映時間：8分）

沖ノ島全島は、1926年（大正15年）に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの大繁殖地となっていることなどを紹介する。



④アニメ「海の民 ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」（梓書院）を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介する。（フィクション）

第1話―「玄界灘の守り神」（上映時間：9分）

第2話―「海人の都ムナカタ」（上映時間：7分）

第3話―「ムナカタとヤマトをつないだ海人」（上映時間：13分）

第4話―「玄界灘の軍神」（上映時間：10分）

第5話―「海の民ムナカタ」（上映時間：11分）



⑤アニメ「海の民 ムナカタ」総集編（上映時間：18分）

総集編では、弥生時代から奈良時代にかけて大陸からの影響を受けながら大きく変化していく時代に生きた宗像の人々の心情や動向を描いている。

令和3年度3Dシアター視聴者数一覧表

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	824	425	313	1,153	341	—	1,147	1,503	1,182	843	745	1,003

合計：9,479人

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館（5月13日から6月22日）

6月 新型コロナワクチン集団接種会場使用のため臨時休館（6月2日・23日）

7月 新型コロナワクチン集団接種会場使用のため臨時休館（7月7日）

8月～9月 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休館（8月10日から9月30日）

新型コロナワクチン集団接種会場使用のため臨時休館（8月4日・25日）

新型コロナワクチン集団接種会場使用のため臨時休館（9月15日）

※令和3年度も2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2Dにて実施

4 体験学習

1. 古代体験学習

原則、毎週土・日曜日、祝日、イベント等で実施

○勾玉づくり

内容：やわらかい石（滑石）を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで削って作る。イベント等では、ピンクや黒の石も用意し、選べる勾玉づくりを開催した。

料金：200円

○古銭鑄造体験

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使用し、古銭を作る。

料金：200円

○火おこし

内容：マイキリという火おこしの道具を使用して、火おこしを行う。

料金：100円

○土笛づくり（新型コロナウイルス感染症防止のため休止）

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オープン粘土を使用して、土笛を作る。

料金：200円

○古代アートでエコバッグづくり

内容：古代の文様や装飾古墳について学び、文様スタンプを押して、布製エコバッグを作る。

料金：200円

令和3年度 古代体験学習参加人数 月別集計表（定例及び団体の体験）

（単位：人）

	勾玉づくり		古銭鑄造		火おこし		土笛づくり		エコバッグづくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4 月	36	—	—	—	5	—			5	—
5 月	40	—	—	—	—	—			8	—
6 月	3	179	—	—	—	—			—	—
7 月	134	160	—	—	15	—			3	—
8 月	70	—	—	—	—	—			—	—
9 月	—	—	—	—	—	—			—	—
10 月	37	—	7	—	9	—			—	—
11 月	48		31	—	9	—			4	—
12 月	15	118	10	—	33	—			—	—
1 月	30	—	5	—	4	—			—	—
2 月	36	—	27	—	14	—			3	—
3 月	37	—	—	—	—	—			—	—
小計	486	457	80	—	89	—			23	—
合計	943		80		89		—		23	

※勾玉づくりには選べる勾玉づくりも含む

※表中「無料」は、市内小・中学校の社会科見学での体験

※令和3年5月13日～6月22日、令和3年8月10日～9月30日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

5 講座

1. 館長講座

概要：西谷館長による歴史講座。令和3年度のテーマは「邪馬台国への道」

回数：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を減らし、同一講座を2回に分けて開催

場所：講義室。あわせてむなかた電子博物館によるインターネット配信を実施

	日程		内容
	偶数月グループ	奇数月グループ	
第1回	4月11日(日)	5月9日(日)	帯方郡
第2回	6月13日(日)	7月11日(日)	韓国
第3回	8月8日(日)	9月12日(日)	狗邪韓国
第4回	10月10日(日)	11月14日(日)	対馬国
第5回	12月12日(日)	1月9日(日)	一支国
第6回	2月13日(日)	3月13日(日)	末盧国

*緊急事態宣言の発出により、臨時休館のため、5月・6月開催分はインターネット配信のみ

2. 出前講座（ふるさとふるふる講座・ルックルック講座 他）

- ・内容：宗像地域の歴史や世界遺産などを、映像やパネル等の資料や体験などを交えながら学ぶ。
- ・受講団体数：14件
- ・受講者数：1220人

（1）小・中学校

団体	学年	講座	開催日	内 容	受講者数
日の里東小学校	5年	ふる	6月9日(水)	世界遺産について	44
中央中学校	7年	ふる	6月25日(金)	世界遺産について	136
赤間西小学校（リモート）	4年	ふる	9月16日(木)	みあれ祭について①	85
赤間西小学校（リモート）	4年	ふる	9月28日(火)	みあれ祭について②	85
赤間西小学校	3年	ふる	10月1日(金)	校区の歴史	60
赤間小学校	4年	ふる	10月20日(水)	釣川改修の歴史	84
			10月21日(木)		82
赤間西小学校	3年	ふる	11月5日(水)	校区の歴史	87
	5年			世界遺産について	64
県立宗像中学校	1年	ルック	11月16日(火)	宗像地域の歴史を学ぶ	80
赤間西小学校（リモート）	4年	ふる	11月17日(水)	沖の島の自然について	84
玄海小学校	6年	他	12月15日(水)	宗像の古代と世界遺産	18
日の里東小学校（リモート）	3年	ふる	2月8日(火)	日の里地域の歴史	50

日の里西小学校（リモート）	3 年	ふる	2 月 8 日（火）	日の里地域の歴史	50
赤間西小学校（リモート）	3 年	ふる	2 月 15 日（火）	私たちのまち宗像市	87
河東西小学校（リモート）	6 年	ふる	3 月 2 日（水）	世界遺産と勾玉づくり	104

- ・ふる：ふるさとふるふる講座（市内小学校）、
- ・ルック：ルックルック講座（一般）、
- ・他：（ふるふる講座・ルックルック講座以外）

6 各種イベント

1. むなかた歴史クラブ

日程・内容：

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定を変更し、次のとおり実施した。

第1回	10月24日（日）	地域を知る！【第1回】	池野地区の地元の人から話を聞き、歩いて神社等を見ながら、地域の歴史を調べる。
第2回	11月7日（日）	地域を知る！【第2回】	
第3回	12月5日（日）	地域を知る！【第3回】	
第4回	1月23日（日）	石碑を調べる！【第1回】	石碑を見て、拓本を取りながら、そこに書かれた歴史を紐解く。
第5回	2月6日（日）	石碑を調べる！【第2回】	

2. 夏の課外授業

名称	内容	開催日	参加人数	参加料
さつき松原 海岸清掃	世界遺産を守り育んだ海を守るための清掃活動	7月22日 （木・祝）	374人	無料
カラリズムリサ ライブペイント	宗像在住のパフォーマー、カラリズムリサさんによる、世界遺産をテーマとしたウォールペイントライブ	7月22日 （木・祝）	40人	無料
海藻がつくる海の森のお話と海藻ハーバリウムづくり	海藻が育つ工程や色味の変わる仕組みを学んだ後、大島の海藻や貝殻などを使って海藻ハーバリウムをつくる。	7月22日 （木・祝）	25人	500円
貝殻でフォトフレームを作ろう！	貝殻を使って自分だけのフォトフレームを作る。	7月24日 （土）	28人	200円
古代のガラスアクセサリーづくり	世界遺産「沖ノ島」沖合いからとれた塩でつくった沖ノ島朱と大島の砂を調合する大島翡翠でガラスのアクセサリーをつくる。	7月24日 （土）	6人	1,000円
（世界遺産海の日イベント）「神迎え・灯籠の道」灯籠の絵制作	みあれ祭陸上神幸が行われる宗像大社～玄海コミセンの道路に設置される灯籠に飾る絵を描く。	7月24日 （土）～8月29日（日）	26人	無料

【トヨタ自動車九州モノづくり教室】 お魚ロボットを作ろう	魚が水中で泳ぐ仕組みを学んだ後、オリジナルのお魚ロボットを製作。尾ひれの位置などを調整しながら、実際に水槽で泳がせる。	7月25日 (日)	13人	無料
まが玉をつくろう！	古代の人々が飾りやお守りとして身につけていたまが玉。白・ピンク・黒の好きな色を選んでオリジナルのまが玉をつくる。	7月29日 (木)～8月24日(火) の火曜・木曜	56人	200円
大きなまが玉をつくろう！	まが玉づくりの夏休み特別企画。いつもより大きなまが玉をつくる。	7月23日 (金・祝)、 8月1日(日)	68人	200円
(世界遺産海の日イベント) 海女ちゃん の蜜蝋ラップづくり 体験	繰り返し使えて環境にもやさしい蜜蝋ラップをつくるワークショップ。プラスチック製品を減らす工夫について学ぶ。	8月18日 (水)	中止	500円
みあれ祭の船づくり	クスノキ材でつくった船の絵付とオリジナルの旗で、自分だけのみあれ祭の船をつくる。	8月21日 (土)	中止	1,000円
(世界遺産海の日イベント) 海洋プラスチックで キーホルダーづくり ワークショップ	海洋プラスチックを使ってキーホルダーを作りながら、海の環境問題について考える。	8月26日 (木)	中止	500円

＊「中止」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3. 宗像大社のみあれ祭陸上神幸

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

4. 海の道むなかた館秋まつり

世界遺産登録5周年プレイベントとして、約2カ月にわたり、体験学習・歴史ウォーキング・ビーチクリーン・コンサート等のイベントを実施

名称	内容	開催日	参加人数	参加料
みあれ祭の船づくり	クスノキ材でつくった船の絵付とオリジナルの旗で、自分だけのみあれ祭の船をつくる。	11月3日 (水・祝)	19人	1,000円

世界遺産を未来に繋ぐ上映会	世界遺産登録に関わってきた人たちの想いを未来に繋ぐための活動を映像で紹介	11月3日 (水・祝)	25人	無料
大きなまが玉をつくらう！	まが玉づくりの特別企画。いつもより大きなまが玉をつくる。	11月7日 (日)	20人	200円
世界遺産と海をきれいにしよう いい、遺産の日、ビーチクリーン作戦	例年実施している遙拝所下海岸清掃に加え、各種団体による玄海地区沿岸の一斉ビーチクリーン	11月13日 (土)	約100人	無料
歴史ウォーキング宗像大社と鎮国寺の繋がりを知る	宗像歴史観光ボランティアの会によるガイドを受けながら、歩きながら宗像大社と鎮国寺を巡る。	11月20日 (土)	34人	無料
ミュージアムコンサート	フルートアンサンブル楽笛(らくふえ)によるミュージアムコンサート	11月21日 (日)	70人	無料
出張！JAL お仕事講座 in むなかた	福岡空港で働く日本航空のスタッフと一緒に、空港や飛行機について楽しく学ぶ。	12月04日 (土)	51人	無料
ハイブリッドカーを作って走らせよう！ 【トヨタ自動車九州モノづくり教室】	モーターと発電機の仕組みを学んだ後、ハイブリッドカーの模型を作り試走させる。	12月05日 (日)	32人	無料
門松をつくらう！	どうして正月には門松を飾るの？などを学んだ後、実際に門松をつくる。	12月11日 (土)	30人	100円
しめ飾りをつくらう！	しめ飾りにはどんな意味があるの？などを学んだ後、実際にしめ飾りをつくる。	12月11日 (土)	30人	100円
海洋プラスチックでキーホルダーづくり	海で拾った海洋プラスチック片をかわいいキーホルダーやヘアゴムに生まれ変わらせるワークショップ	12月18日 (土)	23人	500円
あまちゃんの蜜蝋ラップづくりワークショップ	宗像の海女さんと繰り返し使えて環境にもやさしいオリジナル蜜蝋ラップ作り	12月19日 (日)	10人	1,000円
むなかた三女神記ミュージカル	劇団むなかたによるミュージカル「むなかた三女神記」ミニ公演	12月19日 (日)	157人	無料

—特別公開—鎮国寺 所蔵品展	鎮国寺に所蔵されている普段見 られない貴重な品々を特別公開	10月19日 (火)～12 月19日(日) まで	—	無料
沖ノ島視認調査写真 展	沖ノ島視認調査の調査結果を画 像とデータで展示	11月3日 (水・祝)～ 12月19日 (日)まで	—	無料

5. 海の道むなかた館春まつり

世界遺産登録5周年イベントとして、体験学習・着付け体験・クリーンツーリズム等のイベントを実施

名称	内容	開催日	参加人数	参加料
沖ノ島を感じて！ダン ス体験レッスン	海の道むなかた館展示ホールで 上映中の映像に合わせてダンス を踊る。	3月5日(土)	14人	500円
沖ノ島を感じて！ミュ ージカル体験レッスン	沖ノ島の歴史を学びながらミュ ージカル体験レッスン	3月5日(土)	5人	500円
大きなまが玉をつくろ う！	いつもより大きなまが玉をつく る。	3月6日(日)	30人	200円
ガラス玉アクセサリ をつくろう！	沖ノ島出土の古代ガラスを学ん で、ガラスを溶かしてアクセサ リをつくる。	3月12日 (土)	15人	500円
ミュージアムコンサ ート Vol. 49	横山浩平さんによる迫力のバリ トンコンサート	3月12日 (土)	50人	無料
ペーパークラフトー 馬具杏葉をつくろうー	沖ノ島から出土したと伝えられ る馬具杏葉をペーパークラフト でつくる。	3月13日 (日)	4人	200円
出張！赤馬館着付け体 験～着飾って宗像大 社を歩いてみよう！～	侍や町娘など時代物の着付け体 験。観光ボランティアガイドを 聞きながら宗像大社を巡る。	3月19日 (土)	10人	1,000 円
折り紙で桃・端午の節 句飾りの色紙飾りをつ くろう！	折り紙で桃・端午の節句の色紙 飾りをつくる。	3月20日 (日)	6人 7人	200円
三角縁神獣鏡をつくろ う！	沖ノ島から出土した古代鏡をつ くる。	3月21日 (月・祝)	20人	200円
子持ちまが玉をつくろ う！	沖ノ島から出土した子持ちまが 玉をつくる。	3月26日 (土)	23人	200円

英語で世界遺産を学ぼう！スペシャル英語劇	宗像応援大使アン・クレシーニさんによる英語劇体験	3月27日 (日)	3人	500円
クリーンツーリズム 宗像大社関連神社めぐり	宗像大社摂末社を清掃しながらめぐる。	3月1日(火) ～3月27日 (日)	—	無料
出光佐三展	沖ノ島学術調査に尽力した出光佐三氏の偉業について紹介	3月1日(火) ～3月27日 (日)	—	無料

6. ミュージアムコンサート

館への集客と文化振興のため、NPO法人コラボむなかたと協働で宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を縮小して実施した。

(1) Vol.46 Seaside Memories～ギターとソプラノで綴る海辺の思い出たち～

開催日：令和3年7月22日（木・祝）

出演者：【ギター】橋口武史 【ソプラノ】重住千寿香

参加者数：50人

(2) Vol.47 魅惑の歌声 - バリトン - 横山浩平コンサート

開催日：令和3年10月16日（金）

出演者：【バリトン】横山浩平

参加者数：—

備考：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

(3) Vol.48 フルートアンサンブル楽笛（らくふえ）

日時：令和3年11月21日（日）

出演者：【フルート】楽笛（らくふえ）4名

参加者数：70人

備考：鎮国寺にて実施

(4) Vol.49 魅惑の歌声 - バリトン - 横山浩平コンサート with 重住千寿香

日時：令和4年3月12日（土）

出演者：【バリトン】横山浩平 【ソプラノ】重住千寿香 （敬省略）

参加者数：50人

7 他のイベントとの連携

市外の施設にも事業連携を積極的に行い、館のPRや郷土文化の紹介を行った。

1. 飯塚市歴史資料館歴史講座

飯塚市歴史資料館において、令和3年11月20日（土）世界遺産のPRとして、歴史講座を実施した。題材は「信仰」で、世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、宗像地域にみられる様々な信仰と関連する遠賀川流域の信仰について、講座を組み立て、世界遺産のPRをおこなった。

2. 九州歴史資料館古代子ども体験まつり

福岡県立九州歴史資料館が秋に行う体験型のイベントで、福岡県下から体験メニューを提供している。

宗像市からは、令和3年11月28日（日）光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルとした体験メニューを提供した。

参加人数は26人

8 世界遺産

1. 各構成資産等への来訪者数

(1) 令和3年度月別来訪者数

(単位：人)

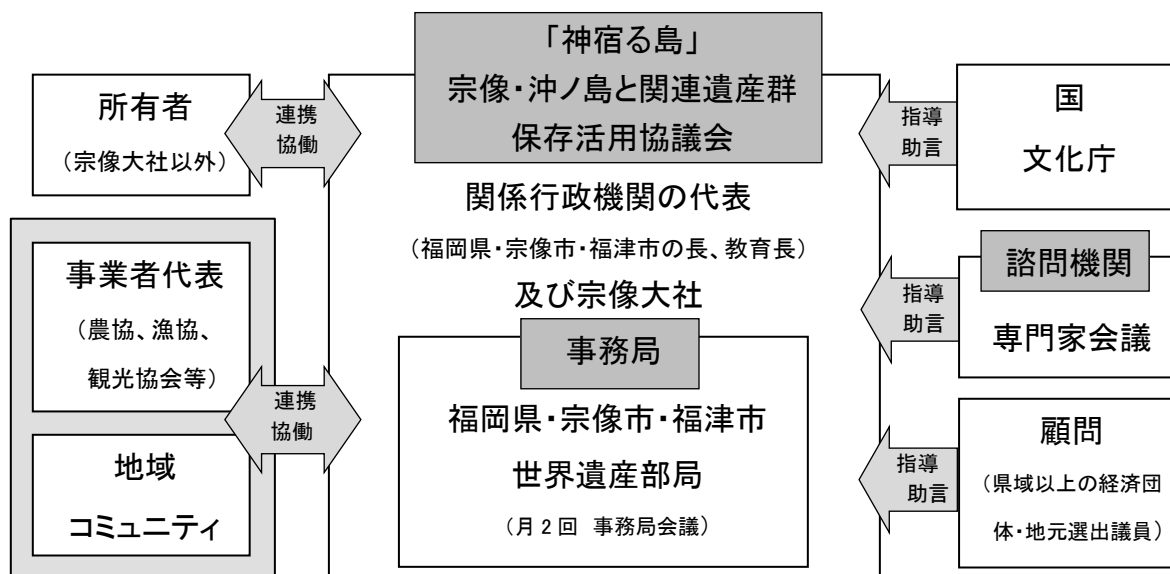
	辺津宮	神宝館	中津宮	沖津宮遙拝所	新原・奴山古墳群
4月	31,172	1,159	2,513	1,524	965
5月	32,789	1,186	2,116	1,392	1,294
6月	25,918	965	1,497	868	801
7月	31,052	1,555	2,066	2,012	556
8月	31,921	1,295	1,281	940	653
9月	36,480	1,101	2,031	1,479	500
10月	42,995	1,597	3,868	3,220	2,367
11月	54,907	2,242	3,328	2,791	1,267
12月	44,728	2,391	1,704	1,123	903
1月	204,136	1,587	2,092	1,159	815
2月	38,095	981	1,208	779	787
3月	38,425	1,551	2,312	1,827	4,231
計	612,618	17,610	26,016	19,114	15,139

(2) 年度別来訪者数

(単位：人)

	辺津宮	神宝館	中津宮	沖津宮遙拝所	新原・奴山古墳群
H30	857,027	78,016	33,593	32,798	18,748
R元	871,691	43,793	30,417	29,540	18,093
R2	584,275	16,483	17,155	14,997	14,706
R3	612,618	17,610	26,016	19,114	15,139

2. 保存活用の体制



3. 保存と活用の取り組み

(1) 保存管理

①学術調査研究事業

◆「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群特別研究事業【協議会】

国際検討委員会の内容

第1回	平成30年度	古代東アジアの航海と宗像・沖ノ島
第2回	令和元年度	古代東アジアにおける地域間交流の信仰・祭祀
第3回	令和4年度（繰越）	古代東アジアの海洋信仰

※第3回は、新型コロナウイルス蔓延防止対策で延期

◆沖ノ島出土品、所蔵文書の調査【協議会】

②各種計画に基づく保存管理と公開活用

◆包括的保存管理計画【協議会】

◆国指定史跡「宗像神社境内」整備基本計画【宗像市】

◆国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画【宗像市】

◆世界遺産のあるまちづくり計画【宗像市】

③構成資産及び周辺環境の保存管理【宗像市】

◆構成資産モニタリング

- ・沖ノ島海域及び史跡の定期調査を年11回実施。
- ・構成資産及び緩衝地帯の調査を実施し、年次報告書を作成して文化庁に報告
6年に1回のユネスコへの定期報告

◆緩衝地帯の保全

- ・景観法、屋外広告物条例及び農地法に基づく開発行為の管理
- ・景観アドバイザーの活用による修景
- ・ボランティアによる清掃活動（市民の会主催）
7/18 さつき松原、11/13 大島（沖津宮遙拝所下海岸、中津宮境内、御嶽山山頂）

◆遺産影響評価

- ・資産内の現状変更や周辺での開発行為について、影響の可能性の事前把握と評価分析
（令和3年度は該当案件なし）

(2) 公開活用

①価値の発信【協議会】

◆海の日イベント【協議会】

- ・「海の日」を本遺産群の記念日として位置づけ
- ・夏休み期間中「海と宝のスタンプ探し」と題し、周遊促進につながるイベントを開催
（新型コロナウイルス対策に基づき、一時中断。その後期限を延長して再開）

◆公開講座

- ・令和3年度は8回、専門家による講座を開催、オンラインでも配信

◆情報発信

- ・協議会公式ホームページの運用、「宗像アーカイブス」の構築運用、VRコンテンツの制作等

②理解促進

- ◆「世界遺産を核としたふるさと学習」をはじめ、学習機会の提供、拡充【宗像市】
- ◆「守り伝える活動」プログラムの運用による、世界遺産を支える人の輪の拡充【協議会】
- ◆「世界遺産学習帳」などを活用した学校教育の支援【協議会】
- ◆体験プログラムやガイド育成など、案内体制の充実強化【協議会】

③宗像市世界遺産市民の会の取組

各地区コミュニティをはじめ、事業者団体や歴史愛好団体等の代表者により構成

- ◆構成資産や周辺の清掃活動及び見回り活動
- ◆キッズミュージカル「むなかた三女神記」公演
- ◆登録に尽力された関係者のアーカイブ制作
- ◆コミュニティ広報紙への登録5周年に関する連載記事掲載

9 むなかた電子博物館

1. 月間ページビュー

(単位：件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	5,117	9,643	8,922	10,167	6,335	8,042	7,244	6,579	4,834	7,800	7,107	7,380	89,170
H30	7,927	7,896	9,180	3,758	6,345	4,395	5,315	4,775	3,365	4,282	3,674	3,413	64,325
R元	4,596	5,873	5,320	5,313	5,241	5,605	6,018	8,099	8,395	9,689	7,195	9,482	80,826
R2	7,315	12,787	10,778	10,897	11,342	12,379	12,918	12,228	10,941	16,030	18,365	13,899	149,879
R3	11,958	16,815	20,672	11,712	9,596	11,687	12,501	13,411	9,952	15,559	15,824	11,345	161,032

2. 事業の内容

①館長講座の動画作成

海の道むなかた館で開催されている館長講座の動画を作成した。

②GIGA スクール“世界遺産学習動画”のコンテンツ作成

地域学芸員の会と連携し、世界遺産学習について、①世界遺産の基礎知識、②宗像の世界遺産、③宗像大社、④沖ノ島での祭祀、⑤奉獻品、⑥大島にある世界遺産の6本の動画を作成した。

③“むなかたのホタル”のコンテンツ更新

むなかた「水と緑の会」と連携し、「宗像市に生息するホタル」のコーナーや、ホタル調査のデータ更新等を行った。

④各種コンテンツの情報更新

植物・鳥等の各種コンテンツの情報を更新した。

10 文化財保護事業

1. 開発事前審査

令和3年度、本市では埋蔵文化財の有無にかかる事前審査を864件受理した(表1)前年度比約95%である。そのうち35件について試掘・確認調査を行ったほか50件の文化財保護法第93条第1項と、2件の法第94条第1項に基づく届出があり、このうち文化財保護法第99条第1項を適用して発掘調査に至ったのは4件(光岡辻ノ園遺跡、神湊下町遺跡、光岡六助遺跡、田熊堀遺跡)である。

(表1) 過去5年度の開発事前審査件数

(単位: 件)

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事前審査	1,037	1,143	1,050	905	864
試掘・確認調査	17	36	26	29	35
93条1項(土木工事等のための発掘に関する届出)	21	28	36	31	50
94条1項(国の機関等が行う発掘に関する通知)	0	1	0	2	2
99条1項(地方公共団体による発掘の施行)	3	1	5	4	4

2. 文化財の指定・現状変更

現状変更8件のうち文化庁許可が4件、市教育委員会が3件である(表2)

(表2) 令和3年度指定文化財現状変更一覧

指定名称	変更内容	許可権者
国天然記念物カヌムリウミスズメ	環境調査	文化庁
国史跡 宗像神社境内	辺津宮摂末社保存修理	文化庁
	環境調査	宗像市
	漁港内における蓋板押さえの設置及び階段改修	宗像市
	潮位計設置	文化庁
	石造柵撤去	文化庁
	辺津宮摂末社保存修理	宗像市
国天然記念物沖の島原始林	環境調査	宗像市

3. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況

史跡田熊石畑遺跡を整備した田熊石畑遺跡歴史公園（いせきんぐ宗像）には、令和3年度中に29480人が来園し、前年度比110%と増加した。新型コロナウイルス流行に伴い市民を対象とした各種イベントも中止になることが多かったが、万全のコロナ対策のうで12月から2月にかけて謎解きイベントを実施した。

（単位：人）

月	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
4月	1,423	1,901	2,641	3,327
5月	1,785	2,081	2,263	2,658
6月	1,971	2,271	1,719	2,026
7月	10,276	12,254	1,444	3,046
8月	850	994	1,320	1,177
9月	1,145	1,555	1,621	2,040
10月	1,997	2,106	2,837	3,031
11月	2,058	3,088	2,870	3,269
12月	1,407	1,341	3,064	2,050
1月	1,758	1,565	1,643	2,175
2月	1,361	1,694	2,307	1,997
3月	2,098	2,606	2,965	2,684
合計	28,129	33,456	26,694	29,480

（1）ポールウォーキング

日程：令和3年4月5日、5月4日、6月21日、7月5日、8月2日、10月4日、11月1日、
12月6日、令和4年1月10日、2月7日、3月7日 他

内容：園内のウォーキング

参加人数：298人

（2）いせきんぐからの挑戦状

日程：令和3年12月5日～令和4年2月27日

内容：田熊石畑遺跡歴史公園を舞台とした謎解きイベント

参加人数：561人

（3）村っ子づくりいせきんぐ事業

日程：毎週火曜日及び木曜日15時～17時（ただし、祝日と振替休日、学校休み期間は除く。）

※新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令時は中止

内容：寄合処で市内小学生の宿題指導、見守り、室内遊び、外遊び等を実施

※参加人数：389人

1 1 新修宗像市史編さん事業

本市では「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、新修宗像市史編集委員会と協働で新修宗像市史を編集し、『新修宗像市史 いくさと人びと』『新修宗像市史 海の道・陸の道』と『宗像市史研究』第5号を刊行した。

1. 宗像市史編さん審議会

宗像市附属機関設置条例に基づき、学識経験者、市民活動団体代表、市民代表等で構成する委員が、市史編さんの基本方針に関し必要項目を審議する機関である。

○宗像市史編さん審議会 委員名簿

任期：令和2年9月1日～令和4年8月31日

職名	氏名	役職等	区分
委員長	西谷 正	海の道むなかた館長	学識経験者
副委員長	伊崎 俊秋	八女市岩戸山歴史文化交流館長	
委員	竹川 克幸	日本経済大学教授	
委員	森 弘子	公益財団法人古都大宰府保存協会	
委員	古川 健一	福岡教育大学教授	
委員	清木 達子	宗像歴史観光ボランティアの会	市民活動団体
委員	辻 洋子	むなかた歴史を学ぼう会	
委員	片岡 俊輔	市民公募	市民代表

※令和4年3月31日現在

2. 新修宗像市史編集委員会

「新修宗像市史編さん基本方針」に基づき、市史編さんに必要な資料の調査及び収集を70件行い、執筆及び編集等に関する必要事項の協議を5回開催した。

○新修宗像市史編集委員会 委員名簿

職名	氏名	役職等	備考
委員長	西谷 正	海の道むなかた館長	総監修
副委員長	森 弘子	公益財団法人古都大宰府保存協会	民俗・美術・建築部会長
委員	竹川 克幸	日本経済大学教授	近世部会長
委員	桑田 和明	元福岡県立図書館職員	中世部会長
委員	時里 奉明	筑紫女学園大学教授	近代部会長
委員	伊崎 俊秋	八女市岩戸山歴史文化交流館長	原始・古代部会長、事務局長
委員	中原 剛	地域史研究家	現代部会長、会計
委員	鈴木 清一	福岡教育大学名誉教授	自然部会長、監査

令和4年3月31日現在

1 2 大島交流館

世界遺産である「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群、大島の歴史と自然、沖ノ島との関わり、大島の人たちの暮らしなど、大島のさまざまな魅力について、映像や写真、パネル展示などを通じて紹介する。

1. 入館者数

年間（月）入館者数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29				3,065	2,924	3,045	2,587	2,735	1,400	1,156	1,712	2,255	20,879
H30	2,635	3,071	2,630	2,466	3,322	2,894	2,412	1,820	1,413	1,143	1,066	1,789	26,861
R1	1,986	3,095	2,068	2,082	2,180	1,902	2,318	1,839	1,164	1,007	1,171	1,118	21,930
R2			1,092	1,600	1,969	1,731	2,431	2,415	1,218	135	101	1,551	14,243
R3	1,393	703	358	1,834	371		2,176	2,143	850	848	651	1,257	12,584

※大島交流館は、平成29年7月15日開館

※令和2年3月28日～6月1日、令和3年1月15日～2月23日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

※令和3年5月13日～6月22日、令和3年8月7日～9月30日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

2. 大島交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市大島901番地4
階数構造	鉄筋コンクリート造 地上3階
敷地面積	684.22 m ²
用途地域	指定なし
既存建物床面積	689.48 m ²
既存建物建築面積	262.96 m ²
既存建物竣工	平成5年3月
現建物床面積	689.48 m ²
現建築面積	262.96 m ²

1 3 海の道むなかた館統計

1. 令和3年度 月別入館者数

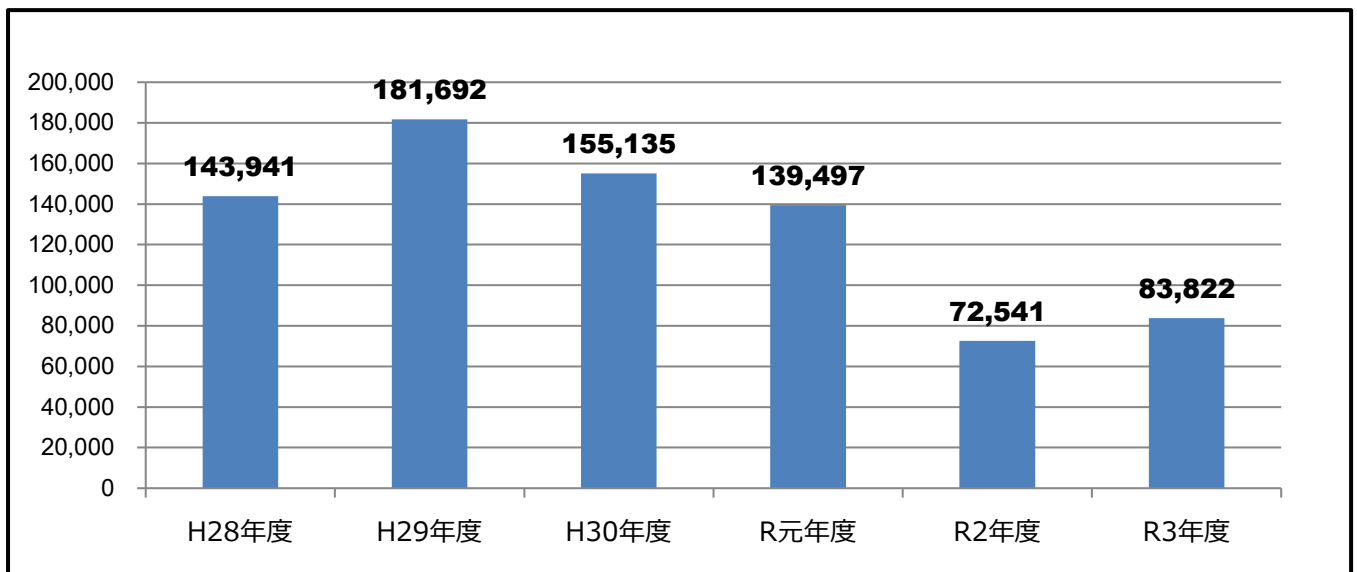
(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8,729	3,326	2,722	11,338	3,412		11,502	9,500	9,463	8,171	7,163	8,496	83,822

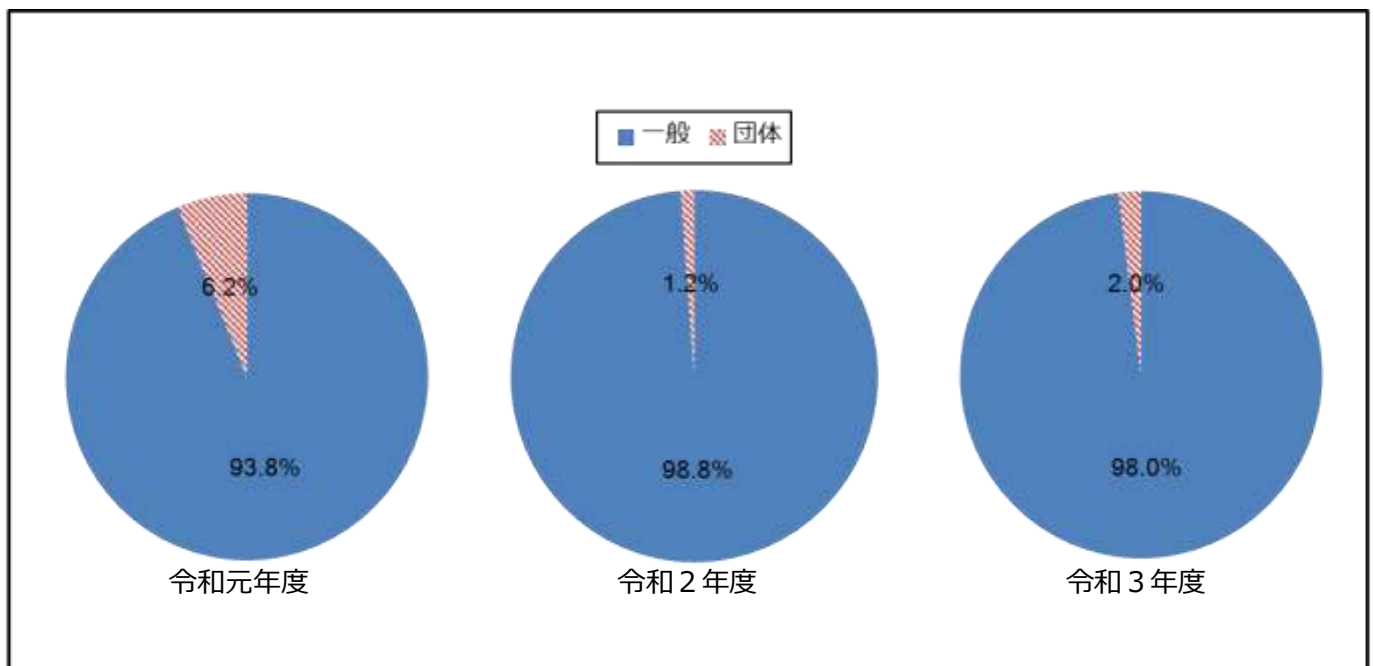
※開館以来の累計入館者数1,312,560人(令和4年3月31日現在)

※新型コロナウイルス感染拡大を受け、8月10日から9月30日まで臨時休館

2. 年度別・入館者数の推移



3. 年度別・一般および団体の入館者数の割合



4. 市内小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学年	日程	来館者数
小学校	河東小学校	6年	6月22日(火)	71
	自由ヶ丘南小学校	6年	6月29日(火)	63
	日の里東小学校	6年	6月30日(水)	47
	南郷小学校	6年	7月1日(金)	36
	日の里西小学校	6年	7月6日(水)	64
	河東小学校	6年	7月7日(木)	70
	赤間西小学校	5年	11月26日(金)	65
	玄海小学校	1・2年	11月30日(火)	15
	赤間小学校	5年	12月1日(水)	167
	玄海小学校	6年	12月7日(火)	13
	玄海小学校	6年	12月14日(火)	24
	自由ヶ丘小学校	5年	1月21日(金)	81
中学校	福岡県立宗像中学校	1年	12月3日(金)	79
合計				795

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため小学校 校来館中止となる。

5. 市外小・中学校入館者数

(単位：人)

学校名		学年	日程	来館者数
小学校	福津市立勝浦小学校	6年	7月8日(木)	70
	福津市立神興東小学校	6年	7月8日(木)	106
	北九州市立新道寺小学校	6年	10月6日(水)	24
中学校	熊本県真和中学校	2年	2月6日(日)	72
合計				272

6. 団体入館者数

○旅行会社・ツアー

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	0	0	2	0	0	3	4	1	1	2	1	15
人 数	8	0	0	22	0	0	73	39	30	28	39	8	247

※令和3年5月13日～6月22日、令和3年8月10日～9月30日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館で受入中止

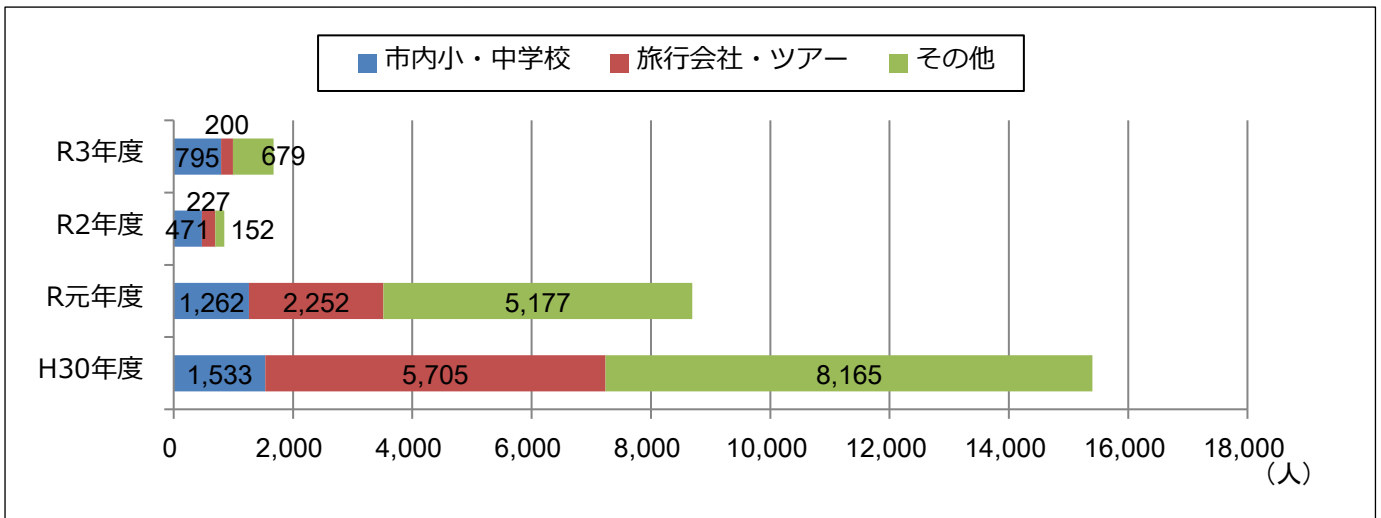
○その他の団体（市内小・中学校を除く）

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	5	1	0	5	1	0	6	15	8	3	1	4	49
人 数	107	6	0	56	15	0	102	466	125	53	16	42	988

※令和3年5月13日～6月22日、令和3年8月10日～9月30日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館で受入中止

7. 年度別・団体別入館者数の推移



8. 年度別・団体別入館者数の割合

